

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	デッサン I				科目コード	D0490A1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	岡 栄子	履修グループ	1K(DG/DW/MA)				授業方法	演習		
実務経験の内容	美術大学卒業後ジュエリーデザイナーの仕事を中心に、テキスタイルや紙媒体のDM制作等、多種多様なデザイン業務に携わる。 デッサン・色彩やジュエリーの講師業を経験、企画製品および完全オーダーの逸品を数多く手掛ける。 これまでの様々な実務経験を軸に、表現の基礎となるデッサン指導を行う。									
学習一般目標	デッサンを通して基礎となる描画力を上げ、表現するための土台を築く。 三次元のを二次元でどう扱えばいいのかわかる。 対象を丁寧によく見ることで、観察眼、集中力を養い、多角的な捉え方を身につける。									
授業の概要および学習上の助言	デッサンはまず観察することから始まります。 興味が「ある」「無い」に関わらず、対象がなにであってても必ず必要になってくるスキルでもあります。 木を見て森を見ずという言葉がありますが、どちらに偏ってもバランスよく進みません。 木、森、また木に戻るというように繰り返し距離感を変えながら観察し、手を動かしてみる。 デッサンは「描く」というだけではなく、自分の日常生活に置き換えることもできる行動だと捉えると面白いのではないのでしょうか。									
教科書および参考書	『静物デッサンテクニック』 誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』マール社 必要に応じてプリント配布。									
履修に必要な予備知識や技能	描く大前提として持ち物は忘れず準備しておくこと。 道具が揃って内容がよければパフォーマンスアップにつながります。									
使用機器	鉛筆(推奨: 3H、H、HB、B、3B 各1本)、練消しゴム、普通のケシゴム、カッターナイフ、スケール、クロッキー帳、目玉クリップ(必要であれば) 削りカス入れ簡易ゴミ箱(1年生は授業初めにつくります)									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	基本形を理解し描くことができる。								
	1	道具、素材の特性を生かし、使うことができる。								
	1	構図、全体のバランスを考えて構成することができる。								
	1	デッサンを通して物体の見え方を理解し、表現することができる。								
5	講義と実習において、前向きに取り組むことができる。									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合						80		20	100	

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度・完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意すること。
ポートフォリオ	
その他	授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、出席状況。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	デッサンの重要性 道具の説明、グレースケール等	講義・実習	三角定規、教科書『静物デッサンテクニック』を持参。
第2回	【立方体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	教科書『静物デッサンテクニック』を持参。
第3回	【立方体の応用】 ・立方体の基本を理解して描く	講義・実習	
第4回	【人物の表現】手の特徴 ・クロッキーについて	講義・実習	教科書『アーティストのための美術解剖学』
第5回	【円柱の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	教科書『静物デッサンテクニック』を持参。
第6回	【円柱の応用】 ・円柱の基本を理解して描く	講義・実習	
第7回	【球体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	教科書『静物デッサンテクニック』を持参。
第8回	【球体の応用】 ・球体の基本を理解して描く	講義・実習	
第9回	【風景の表現】 ・空間の見え方を理解する ・透視図法	講義・実習	クロッキー帳を使うので必ず持参。
第10回	【静物デッサン】ボックスティッシュ① ・立方体の応用 ・ロゴ等の表現	講義・実習	
第11回	【静物デッサン】ボックスティッシュ②	講義・実習	
第12回	【静物デッサン】コンクリートブロック① ・卓上表現	講義・実習	教科書『静物デッサンテクニック』を持参。

第13回	【静物デッサン】コンクリートブロック② ・卓上表現 【まとめ】	講義・実習	
第14回	課題解決型授業① 【自身の手をクロッキー】 (手首含む)10点以上	遠隔授業 実施時期:1期(5/16-5/31)	
第15回	課題解決型授業② 【風景スケッチ】 身近な部屋や廊下を一点透視で描く(実際にその場所に自身が居ること)	遠隔授業 実施時期:3期(6/16-6/30)	